

第11期 松戸市緑推進委員会
第11回 委員会

1. 日時 令和4年6月23日（木）14時30分～16時30分
2. 場所 松戸市役所 新館 5階市民サロン

3. 出席者

○緑推進委員

木下 剛・平岡 考・高橋 清・高橋盛男・河合直志・石川静枝・上野義介
高橋 節・藤田 隆・佐藤秀樹・狭間明美

○松戸市

本郷谷 健次 （市長）
福田 勝彦 （街づくり部長）
齋藤 博紀 （街づくり部審議監）
原山 進也 （公園緑地課長補佐）

○兼事務局（みどりと花の課）

三末容央（課長）・木村高德（補佐）・木原 茂（補佐）・岩田 昇（主査）

○傍聴 0名

事務局より本委員会の成立について、委員15人中11名の出席により成立している旨報告あり。

4. 議事次第

1 開会

2 議事

- 1) 議事要録の確認について
- 2) 答申・提言および活動報告について
- 3) サロン部会からの報告
- 4) その他

3連絡事項

4閉会

5市長への答申・提言および活動報告

議事 1) 議事要録の確認について

会長代理

前回委員会の議事要録の確認について意見等はないか。
無いようであれば、お送りした書類をもって議事要録とします。

議事 2) 答申・提言および活動報告について

会長代理

第11期委員会の答申・提言および活動報告についてですが、本日、事務局がまとめた提言書を配布しております。事務局より、説明をお願いします。

事務局

では、提言書についてご説明いたします。

委員会の提言書について、前回の委員会でご審議頂き、そのあと、事務局で提言書を修正し、6月3日に各委員に送付、最終的なご意見をお伺いしました。本日ご用意した提言書は、そのご意見を反映したものとなっております。提言書について大きなご指摘はございませんでしたが、いくつか修正をしていますので報告させていただきます。

1点目として、ページの体裁に関するご提案で、前回までの提言書は同書体、同級数の文字が続くため、読み手にとって視覚的な変化に乏しく、内容を捉えにくいとのご意見がありました。文字のフォントやサイズを少し変えるだけで印象が変わるとアドバイスを頂き、報告書全体で、文字のフォントやサイズの見直しを行っております。

2点目として、6月14日に開催されたサロン部会で、コロナ禍であっても、サロン部会として出来ることを見つけて、実際にみらいフェスタへの参加など、行動したと事についての議論がございました。そこで、15ページのサロン部会の活動の文に、「みらいフェスタに参加したことは、コロナ禍において活動が制限された中、直接市民と接し、みどりに触れ、楽しんでいる姿を実感することが出来、大変有意義な機会となった」を追記しています。

3点目として、28ページ「第12期委員会への引き継ぐ課題」の中で、上から5行目の「ただし委員会における限られた」から始まった文章を、「ただし委員会では、議論するにも、計画するにも、行動するにも時間が限られており、今後もみどりのサロン部会の役割は重要だと考える」と文章を訂正しています。

以上が訂正箇所となります。

会長代理

事務局より、提言書の説明がありました、いかがでしょうか。

委員

表紙の絵の差替えについて説明をお願いします

事務局

最終的なものは今週中に仕上がる予定となっております。具体的には絵の右下、歩きスマホに見えてしまう懸念があることからサラリーマンが持っているスマートフォンがなくなります。

委員

表紙には様々な花が描いてある、季節感はないが象徴的なものとして捉えるといい。

会長代理

それでは、本提言書をもって、市長への提言とします。

この後、市長との懇談の席で、皆様より1分程度感想を頂くこととなると思いますが、時間も限られているので一人1分程度をお願いします。

事務局

市長が到着されるまでに、少々時間がございますので、柳井会長からのメッセージを紹介します。その後、議事3としてサロン部会からの報告を追加したいと思います、よろしいでしょうか。

事務局

本日の委員会の開催にあたりまして、柳井会長がやむを得ない事情により欠席となりましたが、皆様へメッセージを預かっていますので、ご紹介いたします。

本日は、本務に関連し、どうしても出席しなければならない会議が招集され、緑推進委員会を欠席させていただくことになりました。大変申し訳なく思っています。

松戸市緑推進委員会（第11期）の活動を閉じるにあたり、本来、直接、ご挨拶をすべきところですが、メッセージという形で、委員の皆様をはじめ、ご関係いただいた多くの方々に感謝の意や、私の所感をお伝えしたいと思います。

今回の「緑の基本計画」は、前回の計画策定以来20年が経過した「緑のまちづくり」の礎としながら、今後20年間で如何にして展開していくか、という極めて重要なテーマに取り組んだものです。特に、「暮らしを支える緑を築く」、「ワンランク上のみどりをつくる」、「「みどりの市民力」を豊かにする」、

「みどりのあるライフスタイルを楽しむ」という基本方針と、それに連なる多様な取組を提示できたことは、委員の皆様をはじめご関係の方々に真摯にご検討をいただいた賜物であると考えています。

公園を含む緑のあり方を良い方向に導くことは、都市づくりの重要な戦略になります。今回策定した、「緑の基本計画」は、松戸市の公園整備、緑の保全や緑化推進のみならず、「都市づくり」にも大きく係わる計画として位置づけられます。また、その成否が、「住みたいまち」として選ばれる大きな要因となり、「住み続けたいまち」につながっていくと考えます。

その意味で、「緑の基本計画」が「絵に描いた餅」にならないように、実践していかなければなりません。これから続く「実践のステージ」においても、皆様方とともに汗を流していければと思います。最後に、委員をはじめご関係の皆様、あらためて感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

議事3) サロン部会からの報告について

事務局

議事3の「サロン部会からの報告」を高橋盛男委員よりお願いしたいと思います。

委員

6月14日にサロン部会を開催し、どのような引継ぎをするかがメインの議題であった。部会の評価と所感について意見をもらった。委員会では限られた時間となってしまうので、サロン部会で議論の補填と、議論した中で出来ることについてはトライして「やってみる」ことが役割として大きいことは、委員の共通認識であった。ただし近年、特に去年はコロナの影響もあり活動が大きく制限され、予定した活動も半分くらい実施できなかった。部会の議論ではたくさんのアイデアが出て何から実施しようか迷うことが多いが、その中でも特に次期に引き継ぎたいものとしては、提言書にもある「みどりのプラットフォームをどう作っていくか」である。実施ができなかったものとしては「みどりのフォーラム」の開催。活動の中で好評であったものとして「街づくりキーパーソンを招いての勉強会」があり、それぞれに新しい発見があったので、是非とも次期の部会でも続けてほしいと考えている。「データベースの構築と、その発信方法の検討」についてもコロナにより途中で止まっており引継ぎ事項となっている。アイデアが多い分、やるが増えているので、その精査も必要な引継ぎとなっている。また、長く続いている活動のため、節目でのメンバーの理解深度に差があることも課題として上がっている。部会発足当初はベースを上げることに時間を使ってしまうため、改善していきたいと考えている。活動報告にあるもの全てを部会でやるのはむずかしいため、委員会と協力していくことが必要だと考えている。

会長代理

何か意見等あるか。

委員

サロン部会の持ち味は松戸のみどりとキーパーソンの橋渡しをしてみどりを広げることだと考える。これはやりがいを感じるし継続していきたい。

委員

学習会を通してみどりの外側との関係を築いていくことについては従来よりも一歩踏み出したものだと思っている。今後は学習会を公開していくことも考えている。

委員

サロンの名称のとおり、寄り合いのようなコアの位置づけであると考え。コロナ禍の2年間という制限の中で試行錯誤しながら多団体との協働を含めてアクティブな取り組みが出来た。次期については「みどりの行動会議」との活動の関係を考えつつ、より多岐に渡る活動が可能な組織へ機能拡張して、様々な人と活動していきたい。

委員

今期にて委員会を引退する方の中でもサロン部会への参加を表明している方がいる。サロン部会は緑推進委員でなくとも参加できるものなので、多くの人と活動していきたい。

会長代理

参加に資格等はあるのか。

事務局

特に明文化されたものはない。

会長代理

人手不足について話しがあったが具体的にはどのような部分になるか。

委員

プラットフォームの構築をするとなると組織体が必要となってくる。情報の発信もなかなか活性化していかないので、戦略的な取り組みを具体的に検討する必要がある。SDGsであったり、学校では探求学習というキーワードが出てきた。新しい学習指導要領が出て探求学習が本格的に始まるが、これには里やま活動等のみどりに関することがいい題材となると思う。SDGsや探求学習を松戸のみどりに絡めて広げること考えている。

事務局

先日、市長と話した時に「脱炭素」「再生できる社会」というキーワードと木を使うことも話題に上がっていた。

事務局

少々時間がございますので、ここで退任される委員のご紹介をしたいと思います。よろしいでしょうか。今期で委員を退任される方は、高橋清委員、高橋節委員、佐藤委員、狭間委員、江口委員の5名でございます。

高橋清委員にはおかれましては、第3期から第11期の18年間を務めて頂きました。

高橋節委員におかれましては、第7期から第11期の10年間を務めて頂きました。

佐藤委員、狭間委員、江口委員におかれましては、第11期の2年間を務めて頂きました。

皆さま、長い間委員を務めて頂きまして、ありがとうございました。

では、ご退任される委員の皆様から、一言頂けますでしょうか。

委員

平成16年から委員となったが、あっという間の18年であったと思います。会長をはじめとする委員の皆様、事務局の皆様には大変お世話になりました。皆様への感謝を伝えさせていただいて、私の退任のあいさつとさせて頂きます。改めましてありがとうございました。

委員

10年前に緑推進委員となった時には高橋清委員はもういらっしゃって、18年務めた話しを聞くと私の10年はまだまだだと感じています。私は主婦業専門であったため社会に出たことがありませんでした、皆様の迷惑とならないよう色々な人に話しを聞いたり経験をして今の私があると思っています。ありがとうございました。松戸のみどりが今以上に豊かになることを願っています。

委員

2年間ありがとうございました。委員会活動により松戸のみどりについて分かったことや新たな発見がありました。基本計画については、この第11期だけでなく過去からの積み上げであると思うが、「コロナ禍」「SDGs」等の新たな視点が加わり、みどりは多様な視点で捉えなければいけないなど勉強になりました。イベントが中止となり参加出来なかったことは残念だったが、今度は市民として参加出来ればと思っている。2年間という短い期間でありましたが、ありがとうございました。

委員

コロナ禍で行動が制限された2年間でしたが、「松戸市みどりの基本計画」の最終段階に松戸市の一市

民が関わったことは大変貴重な機会でありました。ある程度出来ている基本計画に意見を述べることは難しいことでしたが、それを受け止めてくださった柳井会長、情報の整理や調整をしてくれた事務局、サロン部会の調整をしてくれた高橋盛男座長など、関係者の皆様のおかげでいい勉強が出来ましたことを感謝申し上げます。委員へ応募した当初の目的は松戸市のみどり環境を高めて地球温暖化防止へ繋げたいとの大きな目標と、植物の知識を高めて自宅の植物環境を良くしたいとの思いでした。身近な目標は実現できていませんが、松戸市のみどり環境は高められていると感じています。江戸川のジョギングを始めた2年前と比べるときれいに整備されて今年は菜の花が多く咲いていました。松戸駅前や公園の整備、21世紀の森と広場もきれいになっていることを実感しています。今後もみどりの基本計画に則り徐々に松戸市のみどり環境が良くなることを思うとワクワクいたします。敢えて今後の活動の提案をいたしますと、緑推進委員となり活動を周囲に紹介していますが、残念ながら松戸市のみどり関係の活動内容はあまり知られていません。私も委員となり初めて千葉大学のみどり関係の活動や重要性を知ることができました。千葉大学園芸学部と松戸市の関係をより強固なものとしてもらえればと思います。コロナ禍により園芸関係のセミナーが開催できなかったですが、今後はこれをきっかけに市民のみどりへの意識を高めていけるといいと考えています。みどり関係に協力的な企業やマンション等へ税金を還元する制度の導入、駅前や学校に植物のタネを配布している企業の名前を冠した札をアピールする、小学校へのグリーン教育の導入等を検討していただければと思います。私は今期で委員会は終了しますが、サロン部会の活動には携わってみどりに関わっていきたいと考えていますので、これからもよろしくお願ひします。

会長代理

退任される委員の皆様お疲れ様でした。委員会はこれで閉会とします。

——市長入室——

事務局

本郷谷市長が見られましたので、これより、「第11期松戸市緑推進委員会の答申・提言および活動報告」を行います。

本日、柳井会長がやむを得ない事情により、急遽、ご欠席になりましたので、会長代理を木下先生にお願いしております。

それでは、申し訳ございませんが、木下先生、本郷谷市長は前にお願いいたします。

会長代理

松戸市長 本郷谷健次 様

第 11 期松戸市緑推進委員会の答申・提言および活動報告について

委員会では令和 2 年 7 月から令和 4 年 6 月までの 2 年間にわたり、諮問事項および第 10 期委員会から引き継いだ事項について、慎重かつ前向きに検討を重ねてまいりました。

この度、委員会の総意として、次のとおり、答申・提言および活動報告について取りまとめましたので、ここに報告いたします。

諮問事項：松戸市緑の基本計画の策定について

第 11 期委員会においては、諮問に基づき、基本計画全般について審議を行いました。審議の過程においては、新型コロナウイルス感染症の脅威と、それに伴いライフスタイルが変化していることに着目し、その中で緑が果たす役割を考え、基本計画への反映を目指しました。

また、新たな基本計画においても大きな位置づけとなった「みどりの市民力」については、本市では樹林地の保全活動や花の活動が大変盛んであり、本市の強みとも言えることから、委員会の場だけでなく、別途有志による部会を立ち上げ、持続可能で且つ新たな展開を期待するという観点から審議し、基本計画への反映を目指しました。

前委員会からの審議も含め、その成果が 4 月に公表された「松戸市みどりの基本計画」となっております。

以上、第 11 期委員会の報告とさせていただきます。

第11期松戸市緑推進委員会 会長 柳井重人

本郷谷市長・木下会長代理による記念撮影

本郷谷市長・緑推進委員による記念撮影

会長代理

まずは本郷谷市長、再選おめでとうございます。短い時間ではありますが、よろしく申し上げます。先に委員の皆さんに 2 年間の感想等を伺って、その上で市長にコメントを頂ければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

委員

コロナ禍で行動が制限された 2 年間でしたが、「松戸市みどりの基本計画」策定の最終段階に松戸市の一市民として関わったことは大変貴重な機会でありました。委員へ応募した当初の目的は松戸市のみどり環境を高めて地球温暖化防止になればとの大きな目標と、植物の知識を高めて自宅等の周囲の植物環境を良くしたいとの思いでした。残念ながら自分の身近な目標は実現できていませんが、松戸市のみどり環境は確実に高められていると感じています。江戸川のジョギングを始めた 2 年前と比べるときれいに整備されて今年は菜の花が多く咲いていました。松戸駅前や公園の整備、21 世紀の森と広場もきれいになっていることを実感しています。今後もみどりの基本計画に則り徐々に松戸市のみどり環境が良くなることを思うとワクワクいたします。敢えて今後の活動の提案をいたしますと、緑推進委員となり

活動を周囲に紹介していますが、残念ながら松戸市のみどり関係の活動内容はあまり知られていません。私も委員となり初めて千葉大学のみどり関係の活動や重要性を知ることができました。千葉大学園芸学部と松戸市の関係をより強固なものとしてもらえればと思います。コロナ禍により開催できなかった園芸関係のセミナーをきっかけに市民のみどりへの意識を高めていけるといいと考えています。みどり環境に協力的な企業やマンション等へ税金を若干還元する制度の導入、駅前や学校に花や植物のタネを配布している企業の名前を冠した札をアピールする、小学校へのグリーン教育の導入等を検討していただければありがたいと思います。

委員

2年間、緑推進委員へ関わらせていただきまして、自分自身は松戸に11年住んで色々な思いで緑推進委員へ応募しました。まずは「松戸市のみどりを良く理解する」自分自身のみどりへの気付きの勉強の場となりました。ありがとうございました。基本計画はコロナの中で多様な働き方であったり、みどりと関わりの変容してきている中でSDGs等の昨今の潮流も含まれております。次期委員会ではこれの活用、環境教育ではプログラム作り等、各地域の特徴に合わせたものを作っていく、色々な世代間の交流や市民活動が松戸市は盛んなので、例えば親子と環境汚染など、新しい発想でSDGsを実行できると思います。5月20日に松戸市が新しい未来都市、常盤平がSDGsのモデル地区となっている、常盤平はみどりが多く色々な方が関わっている場所でもあると思っていますので、一市民として楽しみにしています。自分は緑推進委員はこれで終わりとなるが、今後は家族と一緒にみどりを楽しんで広げることが出来ればと思っています。2年間ありがとうございました。

委員

松戸市みどりの基本計画は新しいものが出来ました。委員の皆様からも色々な意見がある中で自分としては、SDGs、サステナブル、グリーンインフラ等のカタカナ語は少々分かりづらいと感じています。基本計画は市民に分かりやすい、受け取りやすいものであってほしいと思っています。今回の提言書の中で「グリーンインフラを市民レベルで実体化するプロジェクトはできないか」との文言があります。例えば「こめっこクラブで21世紀の森と広場で田植えをする」ことはSDGsにもグリーンインフラにも繋がるものであり、実際に体験する具体的で分かりやすいものであると考えています。田植えをする、森に入る、オープンフォレストを開催する、このように身近な分かりやすい小さいことをしていくのも大切な活動であると思っています。ありがとうございました。

委員

7期から11期の10年間を務めさせていただきました。最初に委員になった時に松戸市内をバスで見学しましたが、その頃に比べると松戸はすごく良くなっています。私はボランティア活動を50代の前半からしていて、そろそろ20年になりますが、なぜ始めたかという、東京から引っ越してきて古墳がいっぱいあることに気が付きました。なぜここにあるのかを知りたくてシティガイドに応募して入っ

て松戸市の歴史を勉強しました。その後、みどりの回廊で千葉大のみどりを守ろう、となり緑関係の活動を今までしています。平成3年の松戸から考えると今はとても素晴らしいと思います。このみどりを今以上に増やしていけたらいいなと思っています。よろしくお願いします。

委員

この2年間、緑推進委員会に関わらせて頂きましてありがとうございます。普段はNPO法人さんまとして子ども食堂、子供の居場所、子育て家庭の応援等の活動をしています。私はみどりの専門家ではありませんが、子供や子育て家庭が松戸のみどりに愛着を持ってみどりを好きになり、松戸を好きになってほしいと思っています。まだ基本計画は市民に見てもらう機会が少ないので、子供や子育て家庭の代弁者として今後も緑推進委員会と関わらせて頂きたいと思っています。ありがとうございました。

委員

5期10年を務めさせていただきました。金融やコンサルタントという本業をしながらみどりの比重を気持ちの中では強めてこれました。今般、基本計画というバイブルに関われたことはとても嬉しく思っています。これからは基本計画を使う、実行する部分も出来たらと思っています。豊かなみどりをロケーションだけでなくツールアイテムとして、生活が楽しくなる装置として作る取り組みを試みたいと思っています。ご支援の程、よろしくお願いします。

委員

普段は造園の現場に携わっているので、このような勉強の機会は苦手とする分野ではありますが、非常に自分の勉強となりました。個人的にはカタカナ語が分からないので、戻ってから調べたり会議中にスマホで調べたりしていました。文化庁のホームページに「カタカナ語」のページがあり、120語が掲載されている。そのようなものも調べて遅れをとらないよう努めました。自分の意見を発信するまでには至らなかった2年間でありましたが、とても勉強になりましたので、現場にも活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

委員

3期から委員をさせてもらっています。里やまボランティア入門講座もこの委員会から生まれたものだが、それも来年で20年となり、森仲間が多くなった。松戸のみどりの基本計画にも「みどりの市民力」が大きく扱われていて嬉しく思っています。一方でみどりのボランティア活動、特に樹林地は相続の問題があり活動のフィールドを確保するのが非常に難しい状況になってきている。里やまボランティアに協力してもらっている所有者も高齢になってきていて、つい先日もその影響で活動を停止する事態となっている。活動に継続性を持たせるためにも、バックアップするようないい制度を考えていただきたいと思っている。グリーンインフラやSDGsが社会実装されていくには身近なところから入れる入口がないと実感してもらうのは難しいので、サロン部会でも議論していきたいと思う。

委員

松戸市みどりの基本計画に携わらせて頂いてありがとうございます。3期から18年務めて、今回退任となります。皆様の多様のある行動力にはとても感心をいたします。今後も松戸市と協力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員

山階鳥類研究所の平岡でございます。私は環境政策課には鳥の調査をする地域環境調査のボランティアとしてお世話になっております。ボランティアの皆さんの研修会の講師も折にふれご依頼いただいておりますが、昨年度の研修では、対面の観察指導ができないので、動画を制作してユーチューブに掲載させていただきました。松戸市の公式チャンネルにて公開されていますが、市長の閲覧数にはとても及ばない再生数となっていますが、いまでも閲覧数が更新されているので嬉しく思っています。このような委員会を年に数回、そこから派生した様々な部会等の活動もみどりと花の課のサポートもあって盛んであることは松戸市の財産であると思っています。環境問題のことに携わっていると思うことがありまして、平穏な時には「環境大切だよね」となりますが、近年では社会を揺るがすような原発事故、地震、コロナのパンデミック、戦争などがあります、その時には「環境なんかは後回しだ」となってしまう恐れがあることを折に触れて感じています。人間が生きていく上で一番ベースの部分にあるのが環境であると思っておりますので、緑推進委員会はとても大切な活動だと考えています。これからもよろしくお願いいたします。

会長代理

本日は柳井会長の代理を務めております千葉大の木下と申します。私は委員としてはまだまだ新米で皆さんの方が先輩ですが、大学でみどりに関することを勉強していますと松戸市以外の緑の基本計画や委員会に携わる機会があります。他市と比較して松戸市が素晴らしいと思う点はいくつかありますが、そのひとつに市民活動があります。ボランティアだけでなく部会まで立ち上げての活動により、分厚い層の活動となっていることは素晴らしいと思います。また今回出来た松戸市みどりの基本計画でも市民の取り組みや活動に関わる施策に多くの内容を割けることは松戸の強みであり財産であると思う。緑推進委員会に多くの市民委員がいること他市では中々見られない松戸ならではのものだと思う。みどりの市民力により新たな基本計画が実現していけるように私も微力ながら関わっていききたいと思っておりますが、本郷谷市長にもよろしくお願いいたします。

市長

2年間、ありがとうございました。この2年間は特にコロナもあったので、中々思うようにいかない部分もあったと思います。そのような中で基本計画の策定にも力を貸していただきまして、ありがとうございました。18年務めていただいた高橋清委員を初め、今回退任される方には今後も色々な形でバツ

クアップをしていただければと思います。松戸は東京から来ると分かりますが、東京は家やマンションが多いのでみどりはあまり見えないけれども、江戸川を越えるとガラッと雰囲気が変わる部分は松戸の価値であると思っています。60平方キロメートルという広い面積に約50万人という人口の中でみどりを活かした街づくりが可能な場所だと思います。コロナに端を発した働き方改革により「朝東京に出て夜帰ってくる」から「自宅で仕事」に変わってくると家の周りの環境も今まで以上に重要なものとなってくると思います。松戸は古い街ですが、今は新しく生まれ変わってくる時期だと思いますが、みどりはその基礎の部分になると考えています。例えば松戸駅は駅舎も含めて新しくしていますが、西口のデッキはウッドデッキ風にして駅舎、構内の通路は木材をモチーフとするよう協議しています。東京から来た時に松戸の持ち味として「みどり」が出るようにしたいと思っています。松戸には多くの市民活動があり、みどりだけでなく子供関係や高齢者問題にも多くの活動があり、積み上げてきたものは松戸の財産だと思っています。高橋委員の活動などはまさにその財産であると思っています。これからはベースとしての価値に留まらず、そこで暮らす人にも価値あるものとなるような街づくりをしていきたい、それには一般市民に理解してもらう必要があると思うが、みんながそれに気付くシンボリックなものがあるといいと思う。子育てについてもずっとやってきたが、ある時「全国で一番」と言われるとみんながそこに気付く。みどりについても市民が気付くきっかけがあれば再認識に繋がると思う。ずっと続くテーマではあると思うが力を貸してもらえればと思います。ありがとうございました。

先ほど話しのあった樹林地については民間所有ということで中々難しい面もあると思います。

委員

松戸は交通結節点なのでそんなことはないが、都内でも結節点を外れると人口が減少してきている。都市の快適さや暮らしの豊かさはそこで大きな差が出てくる中で「みどり」は強力なアイテムであると思う。その意識が膨らむような工夫を市長にも一緒に考えてもらいたい。これは自治体の生き残りを懸けた要素の一つでもあると思う。

市長

これからは特徴のある街、コンセプトを持った街づくりが大切だと思う。今は人口減少社会と言われるようにどこも人口が減少して、人口の増えている街は限られている。東京圏を除くと地域の中心くらいで、関東では千葉都民といわれる地域と埼玉の南側くらいのものであり、それ以外のほとんどは人口減少である。人口全体は国の大きな施策なのでこの場では置いておきまして、各市の数十年先の未来人口を出したもので見ると松戸も減少していく傾向のようである。生まれる子供より亡くなる高齢者の方が多いということだが、松戸市は地理的なこともあるがまだ元気にやっていけそうである。計画では松戸市は人口を横這いくらいを考えている。その中で住んでいる人が「いい街だ」と感じるポイントの一つに「みどり」は大切なものだと思います。とはいえ「みどりを良くしましょう」と言っても一朝一夕に出来るものではないし、誰か一人が頑張ればできるものでもない。市民みんなで時間をかけていかないと、ちゃんとした街づくりにならないし、意味のある「みどり」にもならないと思う。そういった意味

でこのような活動が長く、着実に進んでいることは財産と言えると思います。委員会に残られる方、退任される方にもそれぞれの立場で協力をいただければと思います。

事務局

委員の皆様には大変申し訳ございませんが、市長は別の公務のため、ここで退席させていただきます。本郷谷市長、ありがとうございました。

市長

皆さんどうもありがとうございました。

——市長退席——

事務局

では、事務局からご報告させていただきます。

前回の委員会の後、第12期緑推進委員会の市民委員の選考が行われました。定員6名に対しまして、6名の応募があり、選考により6名全員信任されましたが、その後、1名より辞退の申し出があったため、7月からの発足する第12期の市民委員は5名となります。

そのうち、2名の方が現11期の委員でございまして、藤田委員、上野委員におかれましては引き続き第12期緑推進委員をお願いさせていただきますので、よろしく願いいたします。

最後にみどりの行動会議による七夕プロジェクトについて報告します。例年この時期に里山応援団のご協力を頂き実施してきました。

例年通り、放課後児童クラブにお声掛けしたところ、昨年度よりも申し込みが4施設増え、今年は35施設から竹の配布の要望がございました。

秋山の森で竹を切り出し各施設へお届けすることとなっております。

実施日は6月30日を予定しています。

会長代理

以上で本日のプログラムは終了いたしますが、退任される委員へ一言ご挨拶申し上げたいと思います。ほんとに長い間、緑推進委員会にご尽力いただきましてありがとうございました。私自身は短い間でしたが、その中で感じたこととして、開催日について学識経験者の予定で決めてしまっただけで申し訳なく思っています。それにも関わらず予定を調整して毎回多くの委員の皆様に出席いただきましてありがとうございます。松戸は市民委員の皆さんの活動あってのものであると感じています。その活動が継続できるよう私も努力したいと思っています。また、その活動に厚く御礼申し上げたいと思います。

ではこれをもって、第11期松戸市緑推進委員会を終了します。

事務局

第12期推進委員会の最初の委員会は7月下旬から8月中旬を考えています、調整が出来次第、改めてご連絡させていただきます。